

～社会を明るくする運動～

第19回香美市中学生弁論大会

昨年12月4日奥物部ふれあいプラザにおいて、香美市更生保護女性会主催の「第19回香美市中学生弁論大会」が開催されました。当日は、大柵小・中学校の児童・生徒の皆さんをはじめ、地域の方々や関係者など約100人が見守る中、市内9人の代表生徒が、自分の考えを堂々と発表しました。



～ゼロからの映画づくりを体験したよ～ 大柵小学校



香美市中学生弁論大会の会場で、大柵小学校の児童8人が、自ら制作した映画「夏のいのり」について説明しました。その後、同作品が上映されました。



映画「夏のいのり」は、NPO法人「地球のこどもビジョン」が主催する映画づくり体験に、大柵小学校の児童8人が参加して制作した作品です。映画監督・安藤桃子さんのご指導と、プロの方々の協力を受けながら、「大柵を今後どうしたいか」「どうなってほしいか」といった問いに向き合い、その思いをシナリオに落とし込み、映画を完成させました。子どもたちは初めての挑戦で大変だったようですが、役者、監督、カメラ、音響など、一人で何役もこなしながら練習に励んだそうです。子どもたちの成長を感じました。